



(第1面)

産業廃棄物処理計画作成（変更）報告書

令和5年6月21日

(宛先) 埼玉県 環境管理事務所長 殿

報告者

住 所 茨城県土浦市富士崎1-16-2

氏 名 株式会社ジョイフル本田

代表取締役 平山 育夫

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 029-822-6164

令和4年度の産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画作成（変更）したので、埼玉県生活環境保全条例第20条第2項前段（後段）の規定により、次のとおり報告します。

事業場の名称	株式会社ジョイフル本田 リフォーム事業部
事業場の所在地	茨城県土浦市富士崎1-16-2
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
変更の概要	

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業
②事業の規模	前年度元請完成工事高 8,157,623（千円）
③従業員数	462人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・分別搬出の促進（混合廃棄物の削減） ・積算精度向上による余剰材の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	—
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・分別搬出の促進（混合廃棄物の削減） ・積算精度向上による余剰材の削減 ・リサイクル率の高い業者の選定		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類；ダンボール、石膏ボード、木くず 取り組み；混合廃棄物の削減
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類；ダンボール、石膏ボード、木くず 取り組み；混合廃棄物の削減（再生可能な廃棄物への分別） 現場パトロールの実施

## (第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
(これまでに実施した取組) なし			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t
(今後実施する予定の取組) なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 電子マニフェストの推進		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙集計表のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への委託切替 ・可能な限り優良認定業者から選定 ・契約を締結している中間・最終処理業者の施設を定期的に確認		
※事務処理欄			

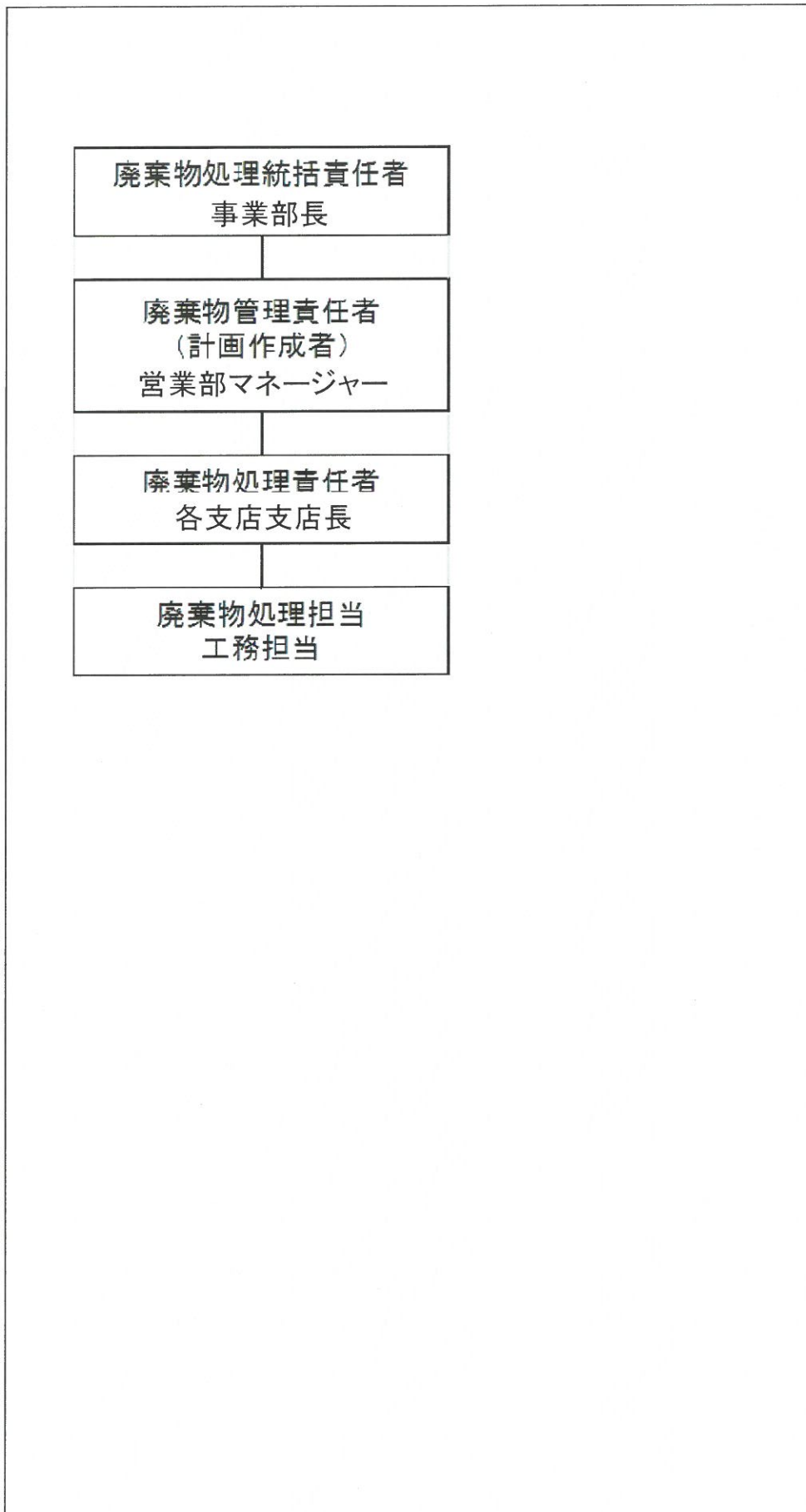
備考

- 1 「変更の概要」の欄は、変更の報告の場合に記載することとし、その記載に当たっては、変更した部分について変更前及び変更後の内容の概要を対照させること。
- 2 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記載すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 3 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 4 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令(昭和46年政令第300号)第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、再生利用業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の4の2第1項の認定を受けた者)への処理委託量並びに認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 6 ※欄は記入しないこと。
- 7 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

# 別添 1 処理工程図



別添2 管理体制図





産業廃棄物処理計画書 別紙集計表

現状：前年度(令和4年度)実績量  
計画：今年度(令和5年度)計画量(目標)

単位：トン

産業廃棄物の種類	排出抑制		自ら再生利用を行なった(行う)量		自らの中間処理		自ら行う中間処理		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)量		処理の委託									
	排出量		自ら再生利用を行なった(行う)量		自らの中間処理		自らの中間処理		自ら行う中間処理		全処理委託量		優良認定処理業者への処理委託量		再生利用業者への処理委託量		認定熱回収業者への処理委託量		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
木くず	59.0	53.1	-	-	-	-	-	-	-	-	59.0	53.1	59.0	53.1	59.0	53.1	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック類	175.2	157.7	-	-	-	-	-	-	-	-	175.2	157.7	171.8	154.6	175.2	157.7	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維くず	1.6	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6	1.4	1.6	1.4	1.6	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0
建設混合廃棄物(管理型)	5.2	4.7	-	-	-	-	-	-	-	-	5.2	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他がれき類	262.7	236.4	-	-	-	-	-	-	-	-	262.7	236.4	262.7	236.4	262.7	236.4	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	503.7	453.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	503.7	453.3	495.1	445.6	498.5	448.7	0.0	0.0	0.0	0.0